

旧立小野小学校 老人ホームへ

平成21年3月に閉校した立小野小学校が地域密着型の入居者介護付き有料老人ホーム『エコルたちお野』として生まれ変わりました。

同小学校は、明治7年4月に『第五学区宮崎県管内第二十七中学区内諸方郡野方村第四十八番、立小野小学校』として創立されました。昭和23年に大崎町立立小野小学校となり、長い歴史と輝かしい伝統を持ち、地域の方々に親しまれてきました。

児童数は、100名を超した時代もあり、これまでに多くの児童が卒業しています。

しかし、少子化の影響による児童数の減少に伴い、野方小学校と統合という形で歴史に幕を下ろすことになり、平成21年3月31日をもって閉校いたしました。

その後、地域の方々から「子どもたちの声が聞こえなくなり寂しい」「地域の活力がなくなる」など不安の声も届き、同小学校の跡地

利用を検討してきたところ、野方地区の医療法人玲心会（春別府稔理事長）による老人ホームとしての利用が決まりました。

平成23年1月16日（日）に、介護付き有料老人ホーム『エコルたちお野』の開所式が行なわれ、関係者が集いました。

開所式では、施設長の春別府稔仁さんが、『この施設に名づけたエコルには、『フランス語で“学校”』という意味があります。ここはかつて、立小野小学校として、多くの子どもたちが、学んだ場所です。地域の方々や出身者の方々が、母校を懐かしんでもらえるように、校章なども残し、外見もそのままにしました。グラウンドや体育館は、地域の方々に開放し、この地域で多くの方々と交流していきたい。そして、人が集まる場所、笑顔あふれる場所になるよう頑張りたい。』と話されました。

『エコルたちお野』の開所により、立小野小学校の134年の歴史に新たな1ページが刻まれました。

